

## 高品質品種の開発と収穫期拡大技術を核とした生食用パイナップルの温暖化 対応技術の確立 (2011～2013年度)

**共同研究機関:** 沖縄県農業研究センター名護支所(中核機関)、沖縄県農業研究センター石垣支所、  
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所

**普及支援組織:** 東村作物等産地協議会、沖縄県八重山農林水産振興センター農業改良普及課

**研究概要:** 高品質、良食味パイナップル系統を供試して地域適応性を検討し、環境適応性の高い生食用高品質品種の開発を行う。また、高温期の花芽誘導特性や低温障害等の異常気象に対する応答反応を解明し、温暖化への適応性を明らかにする。これらの解析結果をもとに高品質品種と収穫期拡大技術を核とした安定生産技術の開発を目指す。さらに、開発した生産技術の将来性の評価と適地予測によってカンキツ代替作物としての可能性を検討する。



パイナップル有望系統「沖縄17号」、「沖縄19号」、「沖縄22号」

### 課題提案者の感想: 産学官連携コーディネーターの支援に対して



沖縄県農業研究センター  
名護支所  
正田 主任研究員

沖縄県で開催された競争的研究資金説明会での個別相談会への参加をきっかけに、提案書のブラッシュアップを依頼しました。

コーディネーターさんからは課題の狙い、重要性、技術開発の手順を理解してもらえ  
るような工夫等について、客観的な視点から詳細なコメントを頂きました。

是が非でも採択される必要がある状況の中、適切な支援のおかげで落ち着いて取り  
組むことができました。誠にありがとうございました。